

H.C.R. 2013 プレスリリース 総集編

発行：2012/09/11

<http://www.hcr.or.jp>

老人と障害者の自立のための

40周年記念

40th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2013

会 期：2013（平成25）年9月18日（水）～20日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：585社・団体（日本526社・団体、海外59社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

16か国・1地域から585社が出展 昨年より37社増にて開催！

いよいよ、40周年を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2013 が、9月18～20日の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。

介護・福祉機器の分野の展示会では、海外でも、アメリカの Medtrade、ドイツの REHACARE に次ぎ、アジア最大の規模といわれる H.C.R.には、今年は、新規出展となるマレーシアを含む16か国・1地域からの585社が出展、約20,000点の最新の福祉機器が集中展示されます。

出展社数は前年度比で37社増となり、さらに規模を拡大しての開催となります。

【開催内容】

1. 福祉機器約20,000点を総合展示

2. 国際シンポジウム

【1】活力ある高齢化と世代間連帯へのドイツの挑戦

～公的年金をめぐるパラドックスの解決策となるか？～ 手話通訳

◆開催日時：2013年9月19日（木）13：00～16：00 ◆会 場：東京ビッグサイト会議棟6F

◆講 師：Manfred Wienand（マンフレッド・ヴィーナント）氏

SRH ハイデルベルク大学 社会法教授、元ドイツ公私福祉連盟事務局長

◆チューター：近藤 純五郎 氏

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

◆参加費：1,000円

◆参加者：高齢化社会の課題や政策・制度に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

※H.C.R.WEBサイト（<http://www.hcr.or.jp>）による事前参加申込受付は、満席のため終了させていただきました。これから参加をご希望の方は、当日12：30よりキャンセル分のみ参加申込を受付けいたします。

3. H.C.R.セミナー〔会議棟6・7Fにて開催、共通資料（1部1,000円）あり〕

◆開催日：2013年9月18日(水)～20日(金)

◆会場：東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」及び7階「703会議室」

9月18日(水)

時間	テーマ	対象者	会場
11:00～12:30	【2】 介護で腰痛にならないための基本技術を学ぶ ～ボディメカニクスの理解と活用 <small>手話通訳</small>	一般、福祉サービス 利用者・家族むけ	会議棟 6F
13:30～16:00	【3】 福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる 実践研究、工夫とアイデア	介護・福祉職むけ	会議棟 1)は6F 2)は7F
	<p>1) 福祉施設におけるマネジメントと地域貢献の取り組み</p> <p>①当施設における研修制度の変更とその影響</p> <p>②エーデル土山のリスクマネジメントシステム</p> <p>③美しい地域社会を築こう誠幸園の取り組み</p> <p>④施設の特徴を活かす地域貢献</p> <p>⑤社会福祉懇談会における日本経営品質賞勉強会の取り組み</p> <p>2) ケアの場面における創意・工夫</p> <p>①乳幼児用座位保持用具の工夫と製作～空箱段ボールと紙管(ラップフィルム芯)で作製</p> <p>②おいしい! 安全! 粥ゼリー～口腔ケア後の嚥下調整食への取り組み</p> <p>③ショートステイ奮闘記～娘宅に来たような</p> <p>④1年間の生活について～たくさんの笑顔をありがとう</p> <p>⑤ヘルパーの痰吸引対応について～みんなで手をつないで</p>		

9月19日(木)

時間	テーマ	対象者	会場
10:30～12:00	【4】 超高齢社会のまちづくり ～柏市豊四季台地域での取り組みをつうじて <small>手話通訳</small>	一般、福祉サービス 利用者・家族むけ	会議棟 6F

9月20日(金)

時間	テーマ	対象者	会場
11:00～12:30	【5】 福祉施設での感染症の知識と対応 ～知っておきたい感染症対策のポイント	介護・福祉職むけ	会議棟 6F
13:30～15:30	【6】 再生可能エネルギーの活用による障害者雇用の 促進～エネルギーの地産地消に貢献する福祉施設	介護・福祉職むけ	会議棟 6F
	<p>1) 基調講演 ：社会福祉施設等における再生可能エネルギーの活用～地球環境の防衛者の一人として～ 社会福祉施設等の環境の取り組みに関する研究会委員長 社会福祉法人 恩賜財団済生会理事長 一般財団法人 地球・人間環境フォーラム理事長 炭谷 茂 氏</p> <p>2) 事例報告</p> <p>①北陸発の新エネルギー社会システムの構築を目指して ～プラスチック・アルミ等の包装容器の資源化と社会展開の可能性を探る～ 北陸グリーンエネルギー研究会 事務局長 水木 伸明 氏</p> <p>②福祉作業所が地域経済を活性化!～熱エネルギーの地産地消～ (株)さいかい産業 取締役 古川 正司 氏</p> <p>③NPO 法人あおぞら/C-nets にいがた事例紹介 NPO 法人あおぞらポコレーション 施設長 本多 佳美 氏</p>		

※H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) による事前参加申込受付は、終了させていただきました。

これから参加をご希望の方は、当日のプログラム開始30分前よりお申込を受付けいたします。

4. H.C.R.セミナー〔プログラム資料を当日販売、配付〕

特設会場 A (東3ホール内)

【7】はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー 手話通訳

「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3編をさらに10のテーマに分類し、以下の時間帯でセミナーを開催します。

18日 (水)	11:00～12:00 「住宅改修」 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 准教授 橋本 美芽 氏		13:00～14:00 「トイレ・排泄用品」 NPO 法人 日本コンタス協会 牧野 美奈子 氏		15:00～16:00 「入浴機器」 高齢者生活福祉 研究所所長 ／理学療法士 加島 守 氏
19日 (木)	11:00～12:00 「ベッド」 神戸学院大学 総合リハビリテーシ ョン学部医療リハビ リテーション学科 教授 古田 恒輔 氏		12:30～13:30 「リフト等移乗用品」 神戸学院大学 総合リハビリテーシ ョン学部 医療リハビ リテーション学科 教授 古田 恒輔 氏		14:00～15:00 「杖・歩行器等 補助用品」 高齢者生活福祉 研究所所長 ／理学療法士 加島 守 氏
					15:30～16:30 「車いす」 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 作業療法士 堀家 京子氏
20日 (金)	11:00～12:00 「福祉車両」 国立障害者リハビリテー ションセンター自立支援局 自立訓練部機能訓練 課自動車訓練室長 熊倉 良雄 氏 国立障害者リハビリテー ションセンター主任理学療法士 吉田 由美子 氏		13:00～14:00 「コミュニケーション 機器」 東京大学 先端科学技術研究セ ンター 人間支援工学分野 教授 中邑 賢龍 氏		15:00～16:00 「自助具」 ヒューマン ユニ バーサルデザイ ンオフィス 代表 岡田 英志 氏

※主な参加対象者：高齢者、障害者及びその家族、新任介護職員、福祉機器企業関係者、学生など

※副読本として、「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3種類を会場にて販売します。1冊100円です。

特設会場 C (東6ホール内)

【8】高齢者むけの手軽な日々の食事～惣菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ 手話通訳

高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦世帯が増えています。こうした世帯では、長寿化が進むにつれて、毎日の食生活のために料理をつくることも、栄養バランスを考えて手間をかけることも大変なことになります。

そのため、日々の食事を市販のお弁当などですませる方々も多くなっています。そこで、コンビニの弁当やスーパーの惣菜・レトルト食品などをもとにして、ひと工夫を加えることによって、簡単で、豊かに、かつ、栄養のバランスがとれる毎日の食事のつくり方を、実演を交えて紹介します。

「特設会場 C」の特設ステージにおいて、毎日 13:00～14:00 の時間帯に「**高齢者の料理講座**」として開催します (※ 7 頁にタイムスケジュールを掲載)。

◆講師 今 寿賀子 氏 虎の門病院栄養部部長、押田 京子 氏 虎の門病院栄養部副部長

※H.C.R. 2009～2011 の間に本講座で紹介してきたレシピの全てを 1 冊にまとめた冊子を、本講座会場にて販売します。1冊 700 円です。

5. H.C.R.特別企画

特設会場 A (東3ホール内)

【9】障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活の可能性を大きく広げるカギとなるものです。

そこで、子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して、子ども向け機器だけを集中展示するとともに、福祉機器の利用や療育に関する相談コーナー、保育士が常駐する「ひとやすみコーナー」のほか、新企画「親子で楽チン！ワクワク！入浴グッズ体験コーナー」などを設けます。

I 福祉機器展示コーナー～終日展示。展示製品について、下記時間帯に説明を聞くことができます。

	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
9月18日(水)	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴	○学習機器／コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器
9月19日(木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴	○学習機器／コミュニケーション機器
9月20日(金)	○学習機器／コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴

II 相談コーナー

9月18日(水)～20日(金)3日間とも	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
----------------------	-------------	-------------	-------------

※上記の時間帯には、療育相談と福祉機器相談について、それぞれ2名の担当が配置されます。

III 親子で楽チン！ワクワク！入浴グッズ体験コーナー

広場内に子ども向けのお風呂用具だけを集め、比較体験する場所として本コーナーを新たに設けました。高齢者の入浴とは違う特有の悩みがあったり、さまざまな留意点を要する「障害のある子どもの入浴」に着目し、関連機器を展示や上手な利用方法の説明や体験コーナー、入浴に関する相談などにも応じます。

IV ひとやすみコーナー

保育士が常駐。玩具を使って子どもたちと遊んだり、保護者の皆さんと子育てについてお話もできます。

(I～IIIへの運営ご協力：横浜市総合リハビリテーションセンター、IVへの運営ご協力：東京都社協保育士会)

【10】ふくしの相談コーナー

技師、作業療法士などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じます。

(【10】への運営ご協力：日本作業療法士協会、大阪府肢体不自由児協会大肢協ボランティアグループ自助具の部屋)

特設会場 B (東6ホール内、ガレリア入口横)

【11】知っているとこんなに便利！身の回りにおけるテクノロジー (アルテク) で創る

豊かで楽しい生活／アルテク講座 手話通訳

多くの人の身の回りにおけるテクノロジー (アルテク) を用いることで、障害がある人の生活が大きく変わります。

たとえば、印刷された本を読めない人でもタブレット PC を用いると電子書籍や新聞を簡単に読むことができますし、音声が使えないためにコミュニケーションに不自由を抱える人も、スマホでチャットを楽しみ、また、アプリを入れれば音声で会話することも可能です。

そのほか、メモをとれない人は IC レコーダやデジカメを上手く活用すればよいなどと、無限大の可能性が広がっています。

このセミナーでは、誰もが日常活用しているスマホ、タブレット、IC レコーダなどの ICT (情報通信技術) 製品を、障害のある人の生活や学習支援に活かすアイデアとともに紹介します。

18日 (水)	12:15~12:45 「重度障害のある人の 意思を読む ーキネクト OAK を 用いたわずかな動き の活用や呼吸の モニタリングー」 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)		14:15~14:45 「障害のある 子どもの学びや生活 を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクト から見えたタブレット やスマホが創る 新しい生活ー」 中邑賢龍 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)	15:15~15:45 「視覚障害のある人が タブレットやスマホを 使ってみると ー iPhone,iPad が創る 新しい生活ー」 三宅 琢 氏 (Gift Hands)
19日 (木)	12:15~12:45 「障害のある 子どもの学びや生活 を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクト から見えたタブレット やスマホが創る 新しい生活ー」 河野俊寛 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)	13:15~13:45 「重度障害のある人の 意思を読む ーキネクト OAK を 用いたわずかな動き の活用や呼吸の モニタリングー」 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)		15:15~15:45 「読み書きの難しい人 に使えるアルテク ーデジタル書籍や 新聞を読んで IC レコーダやデジカメ で記録する」 河野俊寛 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)
20日 (金)	12:15~12:45 「障害のある人との コミュニケーション に使えるアルテク ートーキングエイド アプリやカメラを 活用する」 田代洋章 氏 (NPO 法人 e-AT 利用促進協会)		14:15~14:45 「障害のある 子どもの学びや生活 を支える魔法の道具 ー魔法のプロジェクト から見えたタブレット やスマホが創る 新しい生活ー」 中邑賢龍 氏 (東京大学先端科学 技術研究センター)	15:15~15:45 「重度障害のある人の 意思を読む ーキネクト OAK を 用いたわずかな動き の活用や呼吸の モニタリングー」 田代洋章 氏 (NPO 法人 e-AT 利用促進協会)

定員 90名 (※自由参加、先着順にご案内いたします。)

特設会場 C (東 6 ホール内)

【12】高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」～

今年の本コーナーは「目からウロコ展」と題して、福祉機器や関連グッズに隠された知られざる創意工夫、

ノウハウ、研究の背景や歴史などを、以下のコンセプトでパネルと製品展示により紹介します。

福祉機器には、障害のある人や高齢者などの自立や介助を支援するために、研究や工夫の歴史が詰まったモノが沢山あります。

- はじめは、障害のある人のために開発されたものが今では一般化され、多くの人が便利に使っているモノ
(ライターや温水洗浄便座)
- 利き手に関係なく使えるモノや、特に左利き用に作られたモノ (トランプ)
- 触っただけで中身の違いが分かるモノ (柏餅、シャンプー・リンス、牛乳パック)
- 片手でも操作できるモノ (トイレトペーパーホルダー)
- 高齢者にも聞こえる音で「はじまり」や「おわり」を知らせるモノ
(2,500ヘルツ以下の報知音の出る家電製品)
- 音声で重要なコトを知らせてくれるモノ (音声体重計)
- その人に合わせて販売してくれるシステム (片足ずつ販売している靴)
- 字幕付きのテレビコマーシャル
- お風呂、日本的工夫の宝庫

などなど、実は普段、接しているモノの中にも、いろいろな工夫があります。どうか、手にとって、試してみただけだと思いませんか。

きっと、なかには、家族やお友だちに、自慢して話したくなるモノがあるはずです。

どうか、目からウロコを落としにいらしてください。お待ちしております。

目から鱗が落ちる

あることがきっかけとして、急にものごとの真相や本質が分かるようになること。(広辞苑 第六版)

【12】の企画・監修、運営ご協力：共用品推進機構、テクノエイド協会

【13】福祉機器開発最前線 (デモンストレーションに **手話通訳**) ※

高齢者・障害者の自立と介護を支援する福祉機器は、今や日常生活のさまざまな場面に浸透してきています。特に、ここ数年は、人間工学やセンサー技術の導入など、最新のテクノロジーを活用した福祉機器の研究・開発が盛んに進められ、高齢者・障害者の行動や自立生活の可能性を拓けてきました。

H.C.R.2013 特別企画では、今年も福祉機器開発の最前線を紹介していきます。

今年は、経済産業省のロボット介護機器開発・導入促進事業の対象となった製品を含め、生体動作の支援や「見守り」など、日常生活に密着した機能を有する製品を中心に、注目の機器を計12社からご提供いただき、展示やデモンストレーションを行うなど、最先端の研究・開発に関する情報が発表される予定です。

◇場所：東6ホール内「特設会場C」

<出展企業・団体と展示・デモンストレーション予定の製品>

1. 株式会社イデアクエスト

… 認知症の方などへの、非接触・無拘束ベッド見守りシステム (OWLSIGHT)

2. NK ワークス株式会社 … 3次元電子マット式見守りシステム

3. キング通信工業株式会社

… ～介護者の目となり、要介護者をやさしく見守る～ シルエット見守りセンサ

4. 株式会社スマートサポート … スマートスーツ

5. ソフトバンクモバイル株式会社 … アシストスマホ（仮称）

6. 株式会社テクノスジャパン … 高齢者ケア包括支援システム TASCAL（たすかる）

7. TOTO 株式会社 … ベッドサイド水洗トイレ

8. 東リ株式会社 … 発電無線マット離床センサー イーテリアマット

9. ピップ株式会社 … 見守りエージェント型ネットワークロボット

10. 富士機械製造株式会社 … 起立・着座動作を支援するアシストロボット

11. マッスル株式会社 … ROBOHELPER SASUKE

12. 株式会社ルミナスジャパン … 肢動作支援ロボット（アクティブギブス）

※企業名は五十音順

※「特設会場C」のセミナー・デモンストレーション開催予定表

H.C.R.セミナーの「高齢者むけの手軽な日々の食事／高齢者の料理講座【8】」と「福祉機器開発最前線【13】」のセミナー・デモンストレーションについては、以下のように開催します。

9月18日 (水)	11:00～12:30 福祉機器開発最前線		13:00～14:00 高齢者むけの手軽な日々の食事		14:30～16:00 福祉機器開発最前線
9月19日 (木)	11:00～12:30 福祉機器開発最前線		13:00～14:00 高齢者むけの手軽な日々の食事		14:30～16:00 福祉機器開発最前線
9月20日 (金)	11:00～12:30 福祉機器開発最前線		13:00～14:00 高齢者むけの手軽な日々の食事		14:30～16:00 福祉機器開発最前線

※自由参加、先着順にご案内いたします。

東6ホール内／小間番号：6-18-06

【14】被災地応援コーナー

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のセルフ（障害者授産施設）の製品を販売いたします。

II 40周年特別企画

ガレリア／東2ホール前

【15】H.C.R.40周年記念パネル展示 ～ 福祉機器を利用する人々をささえ、40年

第1回の福祉機器展は、国の社会福祉施設の緊急整備計画が進められ、急増する老人福祉施設などで働く職員の腰痛や頸腕症候群などの職業病という問題が顕在化し、福祉施設の整備とともに設備の近代化として車いす、ベッド、浴槽などの福祉機器を導入して、職員の負担軽減や入所者の処遇向上などをはかることが急務な課題となっていた、昭和49（1974）年11月16日にスタートしました。

以後、老人と障害者の自立と参加を支えることを目的として、福祉機器展は毎年開催されていきます。

1986年には、はじめての国際展示会として開催され、1992年からは展示会の規模も徐々に拡大し、海外企業の定着化と国内企業の参加が大幅に増えながら、福祉機器の種類、技術・機能、デザイン性も飛躍的に拡充してきており、H.C.R.は欧米に次ぐ規模の展示会として、今日にいたっています。

そうした40年の歩みを、パネル展を通じてご紹介いたします。

1974年 第1回社会福祉施設の近代化機器展 都立産業会館/東京・大手町 国内企業64社、来場者9,641人
1986年 第13回国際保健福祉機器展 晴海・国際貿易センター西館 161社（海外67、国内94）、来場者22,276人
1996年 第23回「国際福祉機器展」 東京ビッグサイト 201社（海外65、国内136）、来場者41,133人
2012年 第39回「国際福祉機器展」 東京ビッグサイト 548社（海外58、国内490）、来場者108,505人

～ 展示時間は、H.C.R.会期中の終日（10：00～17：00）です ～

注1）題名の横に「手話通訳」マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

注2）各プログラム名の後の【 】内の数字は、プログラムNo.です。会場内でプログラムについてお尋ねの際などには、No.の数字をお申し出ください。

注3）取材について

- ①会期中の10：00～17：00の時間帯で可能です（東1ホール前に「プレス受付」を設置します）。
- ②事前に、H.C.R.WEBサイト（<http://www.hcr.or.jp>）の「出展社の方へ」内の「取材について」の内容をご確認ください。
- ③取材にあたっては、「プレス資料室」（東1ホール2F「商談室2」）もご用意しております。

H.C.R. 2013 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052

FAX. 03-5512-9798

<http://www.hcr.or.jp>

【H.C.R.開催期間中の東京ビッグサイト内での事務局ご連絡先】

TEL. 03-5530-1180

FAX. 03-5530-1600

※9月16日（月）10：00～20日（金）17：00の期間となります。